KYOTO UNIVERSITY

京都大学医学部附属病院
KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL

特別公開講座シリーズ第２回

医療におけるマインドフルネス

～激動の世界における癒しと変容の力～

1979年、Jon Kabat-Zinn博士が医療の現場で始めたMBSR（マインドフルネスストレス低減法）。その小さな試みは、やがて世界へと広がり、マインドフルネスは人々の苦しみに向き合い、心と身体の癒し、そして生き方の変容を支える実践として発展してきました。現代社会は、絶え間ない変化や不確実性、さまざまな困難に直面しています。こうした激動の時代に、マインドフルネスは医療に何をもたらし、私たちが苦しみと向き合うあり方をどのように変えていくのでしょうか。本講座では、京都大学医学部附属病院でマインドフルネスを治療や支援、研究に取り入れている臨床家たちが、それぞれの実践や成果を紹介します。そしてMBSRの創始者であるKabat-Zinn博士自身が、MBSR誕生の背景にある知られざるエピソードとともに、マインドフルネスが医療にもたらしてきた癒しと変容の力について語ります。ひとつの実践が海を越え、時を越え、京都の医療へ――。その歩みをたどりながら、激動する世界の中で、マインドフルネスが医療と社会の未来に拓く可能性について、ともに考えます。

日　時　2026. 12. 9 （水）18:00 - 21:00

会　場　京都大学吉田キャンパス国際科学イノベーション棟
5Fシンポジウムホール、またはオンライン
※会場には駐車場はございません。

プログラム

17:30　開場

18:00　開会挨拶
村井 俊哉 （京都大学医学部附属病院精神科神経科教授）

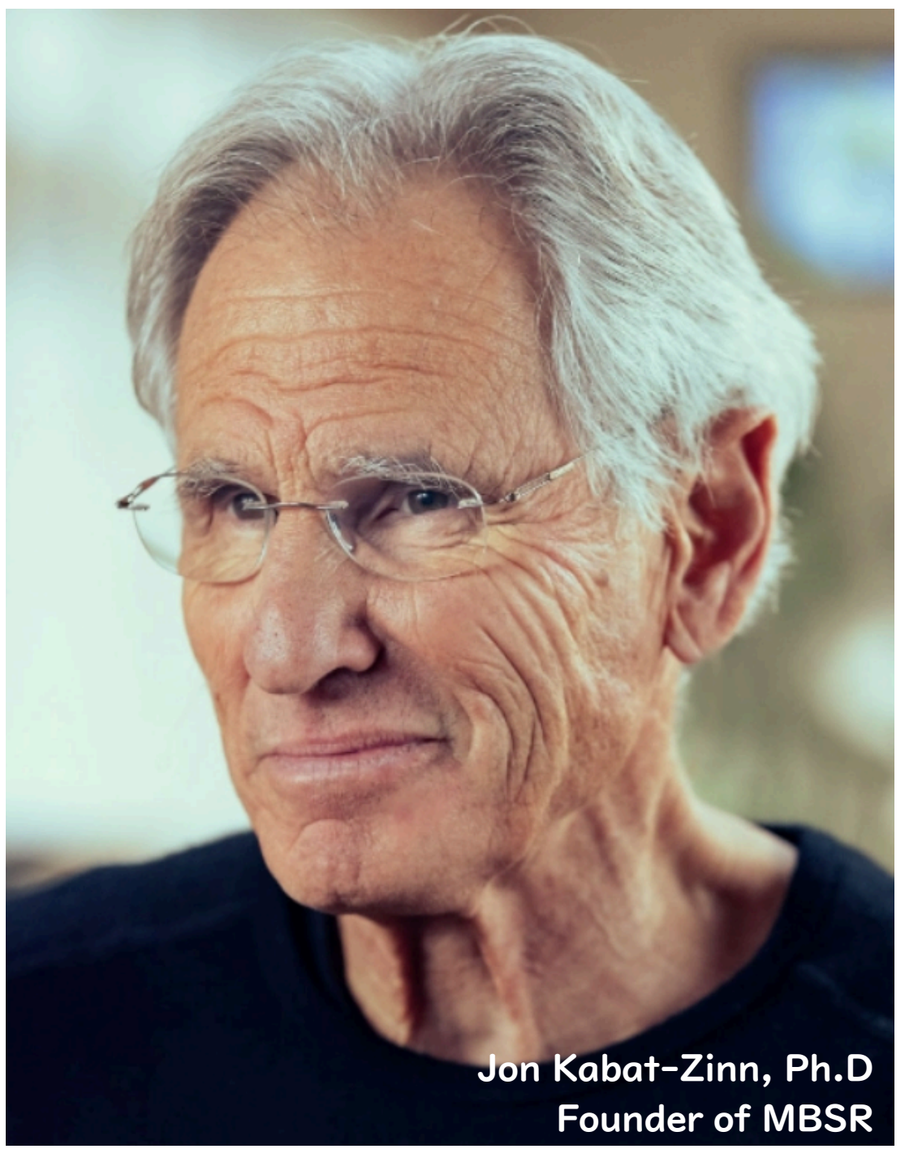
18:10　京都大学医学部附属病院におけるマインドフルネスの実践報告
・安藝 森央（精神科神経科医師）
・金田 和久（循環器内科医師）
・野田 智美（精神科神経科客員研究員）

18:30　特別講演　逐次通訳付
Jon Kabat-Zinn博士（マインドフルネスストレス低減法創始者）

20:00　質疑応答

21:00　閉会

（スケジュールは変更になる場合がございます）


Jon Kabat-Zinn, Ph.D
Founder of MBSR

参加費　無料

申　込　https://forms.gle/UdMjKbEmjeSZez4L8
QRコードよりご登録ください。

定員：現地参加　250名
オンライン 300名

定員に達し次第、受付を終了致します。





Campus Map 69番

主催・問い合わせ
京都大学医学部附属病院精神科神経科(担当：野田・安藝)
Email: micor@kuhp.kyoto-u.ac.jp

医療従事者、学生、一般の方など、どなたでもご参加頂けます。